



## SIP メソッド プロファイルの設定

Session Initiation Protocol (SIP) メッセージのメソッドのホワイトリストおよびブラック リストのプロファイルを使用して SBC を設定できます。これらのプロファイルを使用すると、要求の方式に基づいて、どの SIP を許可するか (ホワイトリスト)、どの要求を拒否するか (ブラックリスト) を制御できます。この機能により、SIP ユーザが SBE 隣接または SIP 隣接を誤用することが回避され、SIP コールの効率が向上します。

### メソッド プロファイルの機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.4.1	この機能は、Cisco XR 12000 シリーズ ルータで導入されました。
リリース 3.5.0	変更なし。

## 内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- [「メソッド プロファイルの設定に関する制約事項」 \(P.41\)](#)
- [「メソッド プロファイルに関する情報」 \(P.42\)](#)
- [「メソッド プロファイルの設定方法」 \(P.42\)](#)
- [「メソッド プロファイルの例」 \(P.46\)](#)
- [「その他の関連資料」 \(P.47\)](#)

## メソッド プロファイルの設定に関する制約事項

メソッド プロファイルに関する次の制約事項を確認してください。

- すべてのプロファイルは、ホワイトリストまたはブラックリストのいずれかである必要があります。両方の要素を含めることはできません。
- すべての SIP メッセージを処理するために、2 つのプロファイルが適用されます。1 つはインバウンドで、もう 1 つはアウトバウンドです (許可された場合)。
- プロファイルによってチェックされるのは、Request URI の SIP メソッドのみです。
- SIP 要求は、メソッド プロファイルの規則に従って拒否されます。SIP 応答は常に転送されます。
- プロファイルの規則に従って、SBC にとって不明なメソッドが転送されても、SIP ダイアログの作成または削除には影響を及ぼしません。

- SBC の動作に必須のメソッドはブラックリストに掲載できず、暗黙的にホワイトリストに追加されます。
- 1 つ以上の隣接によって使用中のプロファイルは削除できません。

## メソッド プロファイルに関する情報

プロファイルの設定後、そのプロファイルをデフォルト アプリケーション用に設定できます。SIP 隣接の場合は、その隣接用のシグナリングにプロファイルを適用できます。

プロファイルからのメソッドへの追加や削除は、いつでも実行できます。

プロファイルは、1 つ以上の隣接に使用されている間は削除できません。どの隣接がプロファイルを使用しているか確認するには、次の `show` コマンドを入力します。

```
show services sbc <sbc-name> sbe sip method-profile <name>
```

表 2 に、必須メソッドセットに含まれるメソッドの一覧を示します。

表 2 必須メソッド

INVITE	OPTIONS
ACK	PRACK
CANCEL	UPDATE
BYE	NOTIFY
REGISTER	REFER
INFO	SUBSCRIBE

プロファイルは設定の任意部分であり、指定しなくても SBC は正しく動作します。デフォルトの動作では、必須メソッドのいずれかの要求が処理され、他のすべての要求は拒否されます。

## メソッド プロファイルの設定方法

次の各項の説明に従い、まずメソッド プロファイルを設定してから、そのプロファイルを適用します。

- 「メソッド プロファイルの設定」 (P.42)
- 「メソッド プロファイルの適用」 (P.45)

## メソッド プロファイルの設定

### 手順の概要

1. `configure`
2. `sbc service-name sbe sip`
3. `method-profile profile-name`
4. `blacklist`
5. `pass-body`

6. `method name`
7. `description text`
8. `commit`
9. `exit`
10. `show services sbc service-name sbe sip-method-profile profile name`
11. `show services sbc service-name sbe sip method-profiles`
12. `show services sbc sbc-name sbe sip essential-methods`

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code>  例： RP/0/0/CPU0:router# configure	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	<code>sbc service-name sbe sip</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config)# sbc mysbc sbe sip	方式のプロファイルを設定するサブモードを開始します。  <code>service-name</code> 引数を使用して、サービスの名前を定義します。
ステップ3	<code>method-profile profile-name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip)# method-profile profile1	メソッド プロファイルを設定します。  <b>default</b> という名前を入力すると、デフォルトのプロファイルが設定されます。このプロファイルは、特定のプロファイルが設定されていないすべての隣接に使用されます。
ステップ4	<code>blacklist</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-mth-prf)# blacklist	ブラックリストのプロファイルを設定します。このコマンドの「no」形式を使用すると、ホワイトリストのプロファイルが設定されます。  (注) デフォルトでは、プロファイルはホワイトリストです。
ステップ5	<code>pass-body</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-mth-prf)# pass-body	このプロファイルが受け入れた <b>non-vital</b> メソッドに対して、メッセージ本文がパススルーすることを許可します。  このコマンドの <b>no</b> 形式を使用すると、このプロファイルが一致させる <b>non-vital</b> SIP メッセージからメッセージ本文が除去されます。
ステップ6	<code>method name</code>  例： RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-mth-prf)# method test	指定された名前のメソッドをプロファイルに追加します。  このフィールドには、1～32文字以内の長さの名前を入力できます（大文字と小文字は区別されません）。  このコマンドの <b>no</b> 形式を使用すると、その名前のメソッドがプロファイルから削除されます。

## ■ メソッド プロファイルの設定方法

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ7	<pre>description text</pre> <p><b>例:</b> RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-mth-prf)# description my SBC profile </p>	<p>特定のプロファイルの記述を追加します。</p> <p>このコマンドの <b>no</b> 形式を使用すると、説明は削除されません。</p> <p>この記述は、このプロファイルに対して <b>show</b> コマンドを使用すると表示されます。また、すべてのプロファイルのサマリーを表示する場合にも、各プロファイルにこの記述が使用されます。</p>
ステップ8	<pre>commit</pre> <p><b>例:</b> RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-mth-prf)# commit </p>	<p>設定変更を保存します。実行コンフィギュレーション ファイルに変更を保存し、コンフィギュレーション セッションを継続するには、<b>commit</b> コマンドを使用します。</p>
ステップ9	<pre>exit</pre> <p><b>例:</b> RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-mth-prf)# exit </p>	<p>メソッドプロファイル モードを終了して <b>sbe</b> モードに戻ります。</p>
ステップ10	<pre>show services sbc sbc-name sbe sip-method-profile name</pre> <p><b>例:</b> RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# show services sbc mysbc sbe sip method-profile profile1 </p>	<p>指定した名前のメソッドプロファイルに関する詳細情報を表示します。</p> <p><b>name</b> に <b>default</b> を使用すると、デフォルトプロファイルが表示されます。</p>
ステップ11	<pre>show services sbc sbc-name sbe sip method-profiles</pre> <p><b>例:</b> RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# show services sbc mysbc sbe sip method-profiles </p>	<p>すべての設定済みのメソッドプロファイルの一覧を表示します。</p>
ステップ12	<pre>show services sbc sbc-name sbe sip essential-methods</pre> <p><b>例:</b> RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# show services sbc mysbc sbe sip essential-methods </p>	<p>表 2 に記載されている、必須メソッドの一覧を表示します。</p>

## メソッド プロファイルの適用

### 手順の概要

1. `configure`
2. `sbc service-name`
3. `sbe`
4. `adjacency sip adjacency-name`
5. `method-profile inbound profile-name`
6. `commit`
7. `exit`
8. `show services sbc sbc-name sbe sip method-profile name`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>configure</code>  例: RP/0/0/CPU0:router# <code>configure</code>	グローバル コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。
ステップ2	<code>sbc service-name</code>  例: RP/0/0/CPU0:router(config)# <code>sbc mysbc</code>	SBC サービスのモードを開始します。  <code>service-name</code> 引数を使用して、サービスの名前を定義します。
ステップ3	<code>sbe</code>  例: RP/0/0/CPU0:router(config-sbc)# <code>sbe</code>	SBC サービス内で SBE エンティティのモードを開始します。
ステップ4	<code>adjacency sip adjacency-name</code>  例: RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# <code>adjacency sip test</code>	SBE SIP 隣接のモードを開始します。  <code>adjacency-name</code> 引数を使用して、サービスの名前を定義します。
ステップ5	<code>method-profile inbound profile-name</code>  例: RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-adj-sip)# <code>method-profile inbound profile1</code>	プロファイル 1 を、隣接テストのインバウンド シグナリングに使用されるように設定します。
ステップ6	<code>commit</code>  例: RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-adj-sip)# <code>commit</code>	設定変更を保存します。実行コンフィギュレーション ファイルに変更を保存し、コンフィギュレーション セッションを継続するには、 <code>commit</code> コマンドを使用します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ7	<b>exit</b>  <b>例 :</b> RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe-sip-adj-sip)# exit	ヘッダー プロファイル モードを終了して sbe モードに戻ります。
ステップ8	<b>show services sbc sbc-name sbe sip method-profile name</b>  <b>例 :</b> RP/0/0/CPU0:router(config-sbc-sbe)# show	ヘッダー プロファイル情報を表示します。

## メソッド プロファイルの例

ここでは、メソッド プロファイルの設定例および出力例を示します。

## メソッド プロファイルの設定例

次に、メソッド プロファイルを設定すると生成されるコマンドおよび出力の例を示します。

```
RP/0/0/CPU0:node3#conf t
RP/0/0/CPU0:node3(config)#sbc umsvc-node3 sbe
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe)# sip method-profile test1
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-sip-mth)#method abcd
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-sip-mth)#blacklist
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-sip-mth)#commit
RP/0/0/CPU0:Nov 13 17:43:11.124 : config[65761]: %MGBL-CONFIG-6-DB_COMMIT : Configuration
committed by user 'yunsun'. Use 'show configuration commit changes 1000000296' to view the
changes.
RP/0/0/CPU0:node3(config-sbc-sbe-sip-mth)#end
RP/0/0/CPU0:Nov 13 17:43:14.866 : config[65761]: %MGBL-SYS-5-CONFIG_I : Configured from
console by yunsun
RP/0/0/CPU0:node3#sh services sbc umsvc-node3 sbe sip method-profiles
Method profiles for SBC service "umsvc-node3"
Name                               In use
=====
test1                               No
default                             Yes
RP/0/0/CPU0:node3#sh services sbc umsvc-node3 sbe sip method-profile test1
Method profile "test1"
Type:      Blacklist
Methods:
  abcd
In use by:
  Not in use with any adjacencies
```

## メソッド プロファイルの適用例

次の例では、メソッド プロファイルを SBC に適用すると生成されるコマンドおよび出力を示します。

```
RP/0/0/CPU0:node3#conf t
RP/0/0/CPU0:node3 (config)#sbc umsvc-node3 sbe
RP/0/0/CPU0:node3 (config-sbc-sbe)#adjacency sip sipp-10
RP/0/0/CPU0:node3 (config-sbc-sbe-adj-sip)#method-profile inbound test1
RP/0/0/CPU0:node3 (config-sbc-sbe-adj-sip)#commit
RP/0/0/CPU0:Nov 13 17:44:28.609 : config[65761]: %MGBL-CONFIG-6-DB_COMMIT : Configuration
committed by user 'yunsun'. Use 'show configuration commit changes 1000000297' to view the
changes.
RP/0/0/CPU0:node3 (config-sbc-sbe-adj-sip)#end
RP/0/0/CPU0:Nov 13 17:44:31.637 : config[65761]: %MGBL-SYS-5-CONFIG_I : Configured from
console by yunsun
RP/0/0/CPU0:node3#sh services sbc umsvc-node3 sbe sip method-profiles
Method profiles for SBC service "umsvc-node3"
Name                               In use
=====
test1                               Yes
testb                                No
RP/0/0/CPU0:node3#sh services sbc umsvc-node3 sbe sip method-profile test1
Method profile "test1"
Type:      Blacklist
Methods:
  abcd
In use by:
  Adjacency: sipp-10 (in)
```

## その他の関連資料

ここでは、メソッド プロファイルの設定に関する関連資料について説明します。

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

## 標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

## MIB

MIB	MIB のリンク
—	<p>Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。</p> <p><a href="http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml">http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</a></p>

## RFC

RFC	タイトル
RFC 2833	『RTP Payload for DTMF Digits, Telephony Tones and Telephony Signals』
RFC 3261	『SIP: Session Initiation Protocol』

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a>